

「具体例から学ぶ 多様体」(第3版1刷) 正誤表
(2020年4月1日版)

場所	誤	正
p. 15, 下から 6 行目	選んでおき,	選んでおく. 必要ならば O_1 と O_2 を取り替えることにより, $a < b$ としてよい. このとき,
p. 16, 上から 6 行目	定理 1.18	$\{a_n\}_{n=1}^{\infty}, \{b_n\}_{n=1}^{\infty}$ の定義
p. 46, 上から 12, 15 行目	n	l
p. 76, 上から 5 行目~8 行目	X の空でない...という.	下の (*) のように改める.
p. 76, 上から 8 行目~9 行目	(5.3), ...なので,	削除する.
p. 88, 下から 2 行目	成分	連結成分
p. 106, 下から 3 行目~1 行目	$I \in O(3)$ を...なので, IA	このとき, $-A$
p. 107, (6.59) 式	IA	$(-A)$
p. 107, (6.59) 式	θ	$(\theta + \pi)$
p. 107, (6.59) 式	(6.59)	(6.58)
p. 108, 上から 1 行目	(6.59)	(6.58)
p. 108, (6.60) 式	(6.60)	(6.59)
p. 125, (7.61) 式	c	\mathbf{c}
p. 138, 上から 8 行目	内積の正値性	エルミート内積の正値性
p. 144, 下から 4 行目	実は,	実は, f の連続性,
p. 150, 上から 2 行目	開集合	空でない開集合
p. 151, (9.5) 式	$\{(x_1(q), \dots, x_m(q), 0, \dots, 0) \mid q \in U\}$	$\{\varphi(q) \mid q \in U, x_{m+1}(q) = x_{m+2}(q) = \dots = x_n(q) = 0\}$
p. 154, 上から 5 行目	$f'(\mathbf{x})$	$f'(X)$
p. 162, 上から 2 行目	p の	p における
p. 176, (10.15) 式	$i = 1$	$j = 1$
p. 196, 上から 9 行目	TM^*	T^*M
p. 250, 下から 6 行目	$(df)_{\mathbf{x}}$	$(df)_p$
p. 252, 下から 4 行目	外積	外積の性質

(*) : $x \in X$ を含む最大の連結部分集合を x の**連結成分**という. 連結成分は閉集合となり, すべての連結成分からなる集合族 $\{A_\lambda\}_{\lambda \in \Lambda}$ は

$$A_\lambda \cap A_\mu = \emptyset \quad (\lambda, \mu \in \Lambda, \lambda \neq \mu), \quad X = \bigcup_{\lambda \in \Lambda} A_\lambda \quad (5.13)$$

を満たす.